

Ⅲ 学力状況の概要

(1) 全国比較（全国の平均を100とした場合の亀岡市の割合指数）

小6	亀岡市 正答率	全国 正答率	全国比較 (割合指数)	中3	亀岡市 正答率	全国 正答率	全国比較 (割合指数)
国語	63	64.7	97.4	国語	66	64.6	102.2
算数	68	70.2	96.9	数学	56	57.2	97.9

令和2年度は未実施

- ア 中3国語において、全国の平均正答率を上回る結果となった。
- イ 小6国語・算数、中3数学において、全国の平均正答率を下回る結果となった。
- ウ 小6国語は、「B書くこと」（思考力、判断力、表現力等）の平均正答率では全国の数値を下回るものの、その差はわずかであった。しかし、「A話すこと・聞くこと、C読むこと」（思考力、判断力、表現力等）では、全国との差は開き課題を残す結果となった。
- エ 小6算数は、すべての領域の平均正答率が全国の数値を下回る結果となった。
- オ 中3国語は、すべての領域の平均正答率が全国の数値を上回る結果となった。
- カ 中3数学は、「数と式」の領域と「数学的な技能」を問う問題において、平均正答率が全国を上回った。しかし、その他の領域の平均正答率が全国の数値を下回る結果となった。

(2) 各学年教科別の特徴的な問題例

ア 正答率の高かった問題（数値は平均正答率を示す）

小6 国語	問題番号2（二）「言葉の特徴や使い方に関する事項」（知識・技能） 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う	選択式	市 85.0 国 87.5
	問題番号1（三）「A話すこと・聞くこと」（思考力、判断力、表現力等） 目的や意図に応じ、資料を使って話す	選択式	市 79.2 国 81.0
小6 算数	問題番号3（1）「Dデータの活用」 棒グラフから、数量を読み取ることができる	選択式	市 94.8 国 95.8
	問題番号1（4）「C測定」 条件に合う時刻を求めることができる	短答式	市 89.9 国 89.2
中3 国語	問題番号4一①「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 文脈に即して漢字を正しく読む	短答式	市 97.3 国 97.5
	問題番号1（二）「話すこと・聞くこと」 質問の意図を捉える	選択式	市 92.5 国 92.5
中3 数学	問題番号7（1）「関数」 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる	短答式	市 93.9 国 93.5
	問題番号5「資料の活用」 与えられたデータから中央値を求めることができる	短答式	市 87.3 国 84.5

イ 正答率の低かった問題

小6 国語	問題番号2 (四)「C読むこと」(思考力、判断力、表現力等) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する	記述式	市 29.6 国 29.7
	問題番号3 (三)(2)オ「言葉の特徴や使い方に関する事項」 (知識・技能) 文の中における修飾と被修飾との関係を捉える	記述式	市 43.5 国 43.6
小6 算数	問題番号2 (3)「B図形」 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる	記述式	市 43.4 国 46.0
	問題番号3 (4)「Dデータの活用」 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる	記述式	市 49.2 国 52.0
中3 国語	問題番号2 (一)「書くこと」 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く	選択式	市 24.7 国 24.8
	問題番号3 (四)「読むこと」 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ	記述式	市 26.9 国 20.5
中3 数学	問題番号8 (3)「資料の活用」 データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	記述式	市 6.4 国 11.1
	問題番号9 (3)「図形」 ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見いだし、それを数学的に表現することができる	短答式	市 23.6 国 28.8